

防止隊だより 令和7年11月号

特集1：保育園で劇団シンデレラの公演を開催
特集2：ぶらっきょろりん+MMB 岡崎！開催
事務局だより：総会のご案内

特集1：岡崎市内の保育園で劇団シンデレラの公演を開催しました

ミュージカルを通してSDGsを考えるきっかけに

園児たちと一緒に、今直面する森の荒廃や地球温暖化問題を考える

今年も防止隊は「劇団シンデレラ」にお願いして、岡崎市内の保育園でSDGs啓発のためのミュージカルを上演しました。劇団シンデレラは一宮市を拠点にし、全国で「夢と希望と冒険と、自然と共に生きる」をテーマに活動している劇団です。保育課とも連携して上演場所を公募したところ、昨年を上回る13園からの希望がありました。選考の結果、燕ヶ丘保育園、城北保育園、みなみ保育園、北野保育園の4か所で開催できました。

劇のタイトルは「アリスのすてきなレストラン」。以前は豊かな森も、地球温暖化の影響で、木の実も果実も採れなくなって、森でレストランを開くアリスも、キツネの「コンコン」もさあ困った。アリスとコンコンは街に出て……。

キャストは小学生、中学生、大学生の子どもたちです。年の近いお兄さんとお姉さんが、舞台から降りて語りかけければ、園児は大声で返事をしたり、歌や踊りに合わせて体を揺らしたり。いつの間にかみんなミュージカルに引き込まれて大盛り上がり！

さらに私たち防止隊のメンバーや園長先生も舞台にあがって、森を豊かにしたり、温暖化を防止したりするための方法を話しかけると、園児は真剣に聞いて「ぜったいにまもる～」と力強い返事が聞こえました。



公演後、子ども同士で「水の流しっぱなしはだめだよ」「せっけんで手を洗うときは、水を止めてからにしよう」などの声かけや、流したままの水道の水を止める姿が見られるようになったそうです。

さらにアリスが給食を作ってくれたという劇中の設定を覚えていて、野菜を残さず食べようになってくれたなど、学びが確実に子どもたちの心には残ってくれたようです。

路線バスで行く里山散策 ～三河最古の名刹『真福寺』を訪ねて～

MMB（みんな、もっと、バスに乗ろう）で岡崎の里山へ

9月21日（日）。酷暑の夏から朝晩少しづつ過ごしやすくなったこの日に、東岡崎駅に集合した11名の参加者と一緒に、北斗台団地内にある「3号公園前」バス停を目指して川向行きのバスに乗車しました。今回の散策の目的地は、おかげ自然体験の森と、三河最古の名刹である真福寺です。

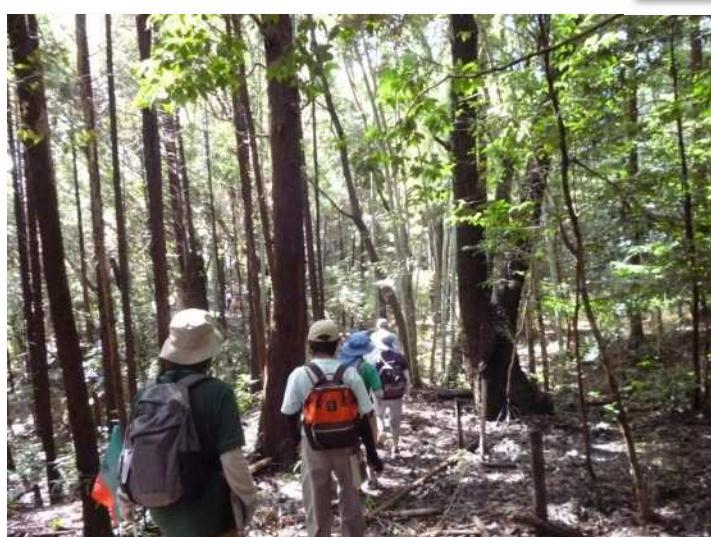
約半数の参加者は日頃からバスを使うことでマナカを利用。現金での支払いはお一人だけで、スムーズに乗り降りできました。



おかげ自然体験の森から薬師道を歩く

バスを降りたら団地をちょっと歩いて里山の中へ。竹やぶの横を通り過ぎるとき、爽やかな風が吹き渡り、さっそく自然の恵みを頂きました。おかげ自然体験の森の管理棟では、施設の成り立ちや森林内の様子の説明を受けました。

その後は実際に森の中を通り抜けて、東門から真福寺へ向かう薬師道に向かいました。森林内では鳥や樹木の名前、間伐されて明るい森の話に聞き入りました。



薬師道は山道で、木の根が出ていたり、岩が転がっていたりと足元が悪いところもありました。ですが、降り積もった落ち葉に「ふわふわで歩きやすいね」などの声が聞かれました。

「薬師道」という名前の由来は、この道の先にある真福寺のご本尊が、「薬師如来」のためでしょう。向かう途中には、道案内のお地蔵さんにも出会いました。初秋の山の空気を胸いっぱい吸って歩いていきました。

三河最古の名刹「真福寺」で感じる歴史

真福寺では、ご住職がこのお寺ならではのお話をしてくださいました。

まず特徴的なのは、十二支によって本堂への入口が分かれていることです。私たちも自分の干支を見つけて本堂の中へ入りました。中央には薬師如来、左右に日光菩薩、月光菩薩が、さらに両側に十二神が祀られており、それぞれ、干支の表示がつけられていました。

そして本堂の中に、もう一つ別の建物もありました。八角形の御堂で、ご住職いわく「その中が井戸になっています。その井戸の水が真福寺のご本尊『水體（すいたい）薬師如来』です。眼と内臓の病気に良い水ということで、信仰を集めています。水がご本尊というのは、全国でも珍しいと思います」という説明がありました。

『水體（すいたい）薬師如来』は秘仏とされ、一般には公開されていません。ですがこの井戸から汲んだという御靈水は、目薬用と身体健康用の2種類あり、手にされた参加者がいました。

また真福寺は三河国最古の寺院でもあり、なんと白鳳時代の推古天皇2（西暦594）年の創建と伝わっているそうです。

お寺の歴史を深掘りするほど、ほとんど学校の教科書で習っただけの、歴史上の人物や用語がどんどん出てくる印象でした。思い思いに境内やお堂を巡りながら、ながい、ながい歴史の積み重ねを感じるひとときを過ごせました。

時間の都合で岩津天神には寄れませんでしたが、最後は予定通りに岩津天神口バス停で解散。それぞれ家の近くの停留所で降車する形で、帰宅の途につきました。

ちなみに今回のぶらっきょろりん+MMB 岡崎！で歩いた距離は、約6kmで、1万歩でした。

防止隊のスタッフを含めた参加者からは「おかざき自然体験の森へは車でしか行けないと思っていたけれど、意外と近くにバス停があったことが驚き」という声もありました。このように普段の生活ではバスに乗らない方面や、初めて乗降するバス停を知る、ということは「MMB 岡崎！」の目的でもあります。

おかげさまで今回は初参加の方が8割で、防止隊の活動に興味を持っていただいた方もおられました。今後もこのようなイベントを通じて、参加者のみなさまがさまざまな方面への興味や理解を深めるとともに、一緒に活動できる仲間づくりへとつなげていければと思います！



おしらせ①：岡崎市地球温暖化防止隊、今後のイベント開催予定スケジュール●

イベント名	日程	内容	実施部会
エコドライブコンテスト	11月16日（日）	自動車から排出される CO ₂ 削減を目的に、燃料消費量の削減や交通安全にも役に立つエコドライブコンテストを実施します。	交通委員会

* 申込方法など詳しい情報は、市政だよりもしくは岡崎市地球温暖化防止隊事務局までご連絡を♪

おしらせ②：岡崎市地球温暖化防止隊、各種会議開催予定日

役員会：代表・副代表・部会長・会計・監事・アドバイザー

日付	時間	開催場所
11月13日（木）	19時～21時	ZOOM オンライン開催

部会・委員会

部会名・委員会名	日付	時間	開催場所
交通委員会	11月10日（月）	19時半より開催	図書館交流プラザりぶら
広報部会	11月22日（土）	13時半より開催	りぶら活動コーナー
自然委員会	11月13日（木）	19時より開催	ZOOM オンライン開催

上記の各種会議では、それぞれの防止隊の関連イベントや運営に関する協議を行います。興味のある方・見学をご希望の方は、防止隊事務局へご連絡ください。各会の長にご紹介し、参加・見学ができるよう調整いたします。なお開催場所へじかに向かう際は、諸事情により、日付・時間・場所に変更がある場合もございますのでご承知ください。

【事務局だより：EV・PHEV 車購入応援キャンペーン】

岡崎市では期間限定で EV・PHEV を購入された方に、最大で補助額が 50 万円となるキャンペーンを実施しています。国の補助金と合わせると 100 万円超の補助金をもらうことができるかもしれません。この機会に、車の買替えをしてみませんか。

●キャンペーン内容

岡崎産再エネ電気ドライブ加算

●加算対象となる要件

- 新たに購入等する EV・PHEV 自動車は、補助対象者が 4 年以上使用したガソリン車又はディーゼル車からの買替えであること。
- 「買替え」は旧車両の廃車、売却又は譲渡を伴うものとし、補助金の交付申請日前 6 か月以内に実施していること。
- 申請時に新車の自動車検査証記録事項に記載された使用の本拠となる場所において、小売電気事業者との電気契約を、市に登録された地産電力メニュー（岡崎産再エネ電気）に切替えていること。
- その他にも対象者の要件等がありますので、必ず HP を確認してください。

●キャンペーン期間

令和7年10月8日（水）から令和8年2月19日（木）

初度登録から 2 か月以内に申請が必要です。



岡崎市地球温暖化防止隊事務局
【岡崎市環境部ゼロカーボンシティ推進課内】
TEL : 0564-23-6786 FAX : 0564-23-6536
Eメール ondankataisaku@city.okazaki.lg.jp



2025年10月発行